



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

# しらこぼと

## 2017.9

No.402

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 野鳥情報にはメッシュを!!

調査部 森本國夫（さいたま市）

## はじめに

日本野鳥の会埼玉で運用している野鳥データベースは、鳥の観察場所を3次メッシュという区画の単位で記録しています。あなたの貴重な野鳥情報をお名前と一緒にデータベースに登録して後々まで活用できるように、観察場所の3次メッシュを知らせてもらえませんか。

「地名だけで報告させてよ」という人にもお願ひがありますので、どうか読んでください。

## 1. メッシュとは何か

メッシュとは英語で網の目を意味する言葉ですが、ここでいうメッシュはJIS X 0410(日本工業規格)で規定されている緯度・経度に基づいた区画のことで、大小様々なサイズがあります。よく使われる約1平方kmという手ごろな面積の区画が、数字8桁のメッシュコードで特定される3次メッシュです(正式には「基準地域メッシュ」)。

野鳥データベースで観察場所の記録を3次メッシュ単位にしてあるのは、図1に例示した探鳥会でのオオパンの記録(○:1985~1989年、+:2011~2015年)や2017年4月増刊号の野鳥分布図といった野鳥の生息地域を示す図をパソコンで容易に作成できるからです。地名だけではこのような図に結び付けることができません。

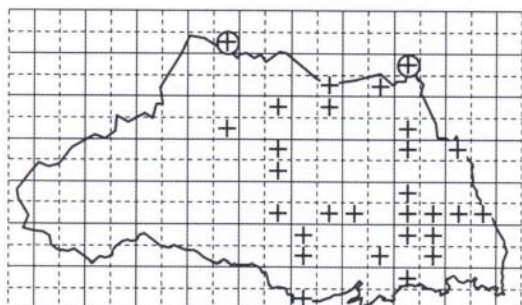


図1. 探鳥会でのオオパンの記録

## 2. 野鳥情報での望ましい観察場所の表現

これから説明することは、あくまでデータベースに登録するという観点からの希望です。

なお、保護などの観点から詳しい観察場所を伏せたい情報は、その旨を明記してあれば『しらこぼと』への掲載では配慮されます。

### ① 3次メッシュの場合

地名は詳しく書かなくて結構です。ただし、複数の3次メッシュを示して、これらの鳥を見ましたという情報だと、どのメッシュでどの鳥が見られたのか、第三者には分かりませんから、データベースに登録するのは難しいのです。メッシュごとに分けて報告してください。なお、観察範囲が隣接する2~3メッシュにわたっていても、鳥のいた場所や面積の大部分が1つのメッシュだという場合は、その1つで代表させて結構です。

### ② 緯度・経度の場合

地名は詳しく書かなくて結構です。面的な広がり表現してはいいませんが、その地点を含む3次メッシュは容易に特定できます。

### ③ 地名の場合

地名から3次メッシュを特定するのは、必ずしも容易ではありません。たとえば、〇〇市大字〇〇だと候補が3次メッシュ4~5区画というのもざらで、10区画以上の範囲に及ぶ例まであります。このような場合は、3次メッシュの特定が困難で、データベースへの登録を断念せざるを得ません。

そこで、地名だけではなく、施設や橋などの地図上で探しやすい目標物との位置関係になるべく詳しく書き加えて欲しいのです。場所を数百m四方くらいの狭い範囲に絞り込めるように報告してもらえると、3次メッシュを特定するのが容易になるので大変助かります。

## 3. 3次メッシュコードの調べ方

### ① インターネットで調べる方法

3次メッシュコードを調べられる代表的なウェブサイトには、「Geocode Viewer」や「地図上で標準地域メッシュを確認するページ」があります。前者は本会ウェブサイトの野鳥情報投稿フォームからリンクされています。後者は筆者も使っていますが、なかなか便利です。検索してみてください。



② 紙の地図で調べる方法

観察場所の「2万5千分の1地形図」を手に入れてください。大きな書店には置いてある国土地理院が刊行している地図で、埼玉県を54枚でカバーします。なお、測量法が改正された平成14年4月1日より前に発行された古い地形図は、今回の目的には使えません。

地形図に、以下に示す要領で線を引きます。

図2の最外側の線は、余白を除いた実際に地図の描かれている範囲を示しています。

3色刷り地形図の場合、地図外側の各辺に緯度や経度が書かれた2次メッシュ境界の目盛りが2箇所ずつ入っています。それらの目盛りを結んだのが、図2の太い井桁状の線で、内側の□部分がJISで規定される2次メッシュ区画です。

多色刷り地形図の場合、3色刷りのようには目盛りが入っていません。図3の2次メッシュ境界線の緯度と経度を参考に、前記の井桁状の線を引くべき位置を定めて、2次メッシュ区画を確定してください。

上記のように2次メッシュ区画を確定したら、その各辺を10等分して図2のように線で結びます。そうしてできた100の区画が3次メッシュです。3次

メッシュ区画の中に入っている数字は、8桁の3次メッシュコードの下2桁を示しています。

3次メッシュコードの上6桁には、2次メッシュを特定する2次メッシュコードが入ります。地形図名と2次メッシュコードの関係は、図3に示したとおりです。

たとえば、2次メッシュコードが533965の浦和という地形図の区画74だと、3次メッシュコードは53396574になるわけです。このメッシュでは三室地区探鳥会が行われています。ちなみに、本会事務局は53396522というメッシュにあります。

90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09

図2. 2次メッシュとその中の3次メッシュ

北緯																		
36.20.00																		
36.15.00					高崎	伊勢崎	上野境											
					543930	543931	543932											
36.10.00					藤岡	本庄	深谷	妻沼	館林	古河								
					543920	543921	543922	543923	543924	543925								
36.05.00		万場			鬼石	寄居	三ヶ尻	熊谷	加須	栗橋	下総境							
		543817			543910	543911	543912	543913	543914	543915	543916							
36.00.00		浜平	高神山	長又	皆野	安戸	武蔵小川	東松山	鴻巣	久喜	宝珠花							
		543805	543806	543807	543900	543901	543902	543903	543904	543905	543906							
35.55.00		居倉	中津峡	三峰	秩父	正丸峠	越生	川越北部	上尾	岩槻	野田市							
		533875	533876	533877	533970	533971	533972	533973	533974	533975	533976							
35.50.00		金峰山	雁坂峠	雲取山	武蔵日原	原市場	飯能	川越南部	与野	浦和	越谷	流山						
		533865	533866	533867	533960	533961	533962	533963	533964	533965	533966	533967						
35.45.00								青梅	所沢	志木	赤羽	草加	松戸					
								533952	533953	533954	533955	533956	533957					
東経	138.37.30	138.45.00	138.52.30	139.00.00	139.07.30	139.15.00	139.22.30	139.30.00	139.37.30	139.45.00	139.52.30	140.00.00						

図3. 埼玉県をカバーする「2万5千分の1地形図」の図名とその2次メッシュコード  
太い実線は1次メッシュ(20万分の1地勢図)の区切り  
周辺の数字は2次メッシュ境界線の緯度や経度を「度.分.秒」で示したもの

## 「野鳥リポーター」を募集します 日本野鳥の会埼玉 調査部

調査部では、埼玉県内でどのような鳥が見られたかを定期的に報告して下さる「野鳥リポーター」を募集します。

『しらこぼと』に毎月掲載されている野鳥情報との違いはなんでしょうか。野鳥情報は、見た鳥すべてというよりも、夏鳥や冬鳥の初認や終認、旅の途中の鳥、比較的数量が少ない鳥、季節を感じさせる鳥の行動などを選んで報告することが多いのではないのでしょうか。それに対して、「野鳥リポーター」には、ありふれた鳥にも注目して、見られた鳥の全種を報告していただきたいのです。

県内の野鳥生息に関する情報は、探鳥会が開催されている場所を除いて、限られているという現状があります。多くの方々に「野鳥リポーター」になっていただき、県内の鳥の生息状況をできるだけ広い範囲で把握できるよう、ご協力いただければ幸いです。

応募していただく方には、恐縮ですが、次に挙げる3つの条件を満たすことをお願いし

たいと考えています。

- ① 調査部で用意したエクセルの様式ファイルに自分で観察した情報を入力できること
- ② 観察場所の3次メッシュを自分で調べられること（3次メッシュの意味や調べ方は、本号特集記事参照）
- ③ 電子メールでの連絡や、電子メールに①のエクセル様式ファイルを添付しての送受信ができること

「野鳥リポーター」にいただいた情報は、調査部でチェックした後に、野鳥データベースに登録します。データベースでは、1種1種の鳥が報告者の名前と関連付けて記録されるので、リポーターの希望があれば、その方のデータをいろいろな形で集計したものなどを、エクセルファイル形式で出力して提供できます。つまり、データの提供は記録のとりまとめ手段を手にするにも等しいのです。

応募・問い合わせ先：

調査部 森本 mokunio@hotmail.com

## 野鳥記録委員会の最新情報 日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

### ●マダラチュウヒ

英名 Pied Harrier

学名 *Circus melanoleucos*

分類 タカ目タカ科チュウヒ属



森川壯二郎さん（未入会の方）より、2017年5月17日午前8時30分ごろさいたま市西区内の荒川河川敷で撮影した、上掲ほか3枚の写真が寄せられました。当委員会で写真を検討した結果、マダラチュウヒ♂であることが確認できたので、342番目の野鳥として県内野鳥リストに追加することにしました。

森川さんの話によれば、10分ほどの間、土手を3回くらい往復していたとのことでした。

本種は、モンゴル東部、シベリア東部、中国北東部、朝鮮半島などで繁殖し、インド、マレーシア、フィリピン、中国東部などで越冬します。日本国内での記録は少ないですが、近県では迷鳥として栃木、茨城、東京、神奈川に記録があります。





## 野鳥情報

### さいたま市見沼区上山口新田(5339-6572)

◇3月28日、芝川沿いで、カモが大分少なくなってきた。カシラダカ5羽、頭が黒くなり始めた個体も。アオジも顔が黒くなり色鮮やかになっていた。2月の市民の森で出たのと同じ個体と思われるオシドリが陸で休んでいた。他に、キジ、コガモ、オカヨシガモ♀、カルガモ、ヒドリガモ、オオバン、バン、キジバト、カワセミ、コゲラ、カワウ、モズ、シジュウカラ、ムクドリ、ツグミ、ホオジロなど。4月3日、カモはさらに少なくなった。まだオシドリがいて、陸で休んでいた。少しは飛べるようになってきたが羽を痛めているのだと言う人に出会った。カワセミが活発に芝川を行き来していた。繁殖が始まったのかも知れない。ツバメ4羽が芝川の上を飛んでいる虫を狙って飛び回っていた。他に、コガモ、カルガモ、オオバン、バン、タシギ、カワウ、モズ、シジュウカラ、ツグミ、ヒバリ、ハクセキレイ、カワラヒワなど(森本國夫)。

**幸手市(5439-0597)** ◇3月30日午後1時45分頃、荒宿交差点の遠藤薬局付近でツバメ1羽飛翔。今季初認。ここでは毎年営巣している(荒川貴之)。

**さいたま市緑区上野田** ◇4月1日、車運転中に鳴きながら飛ぶツバメ1羽、今季初認(鈴木紀雄)。

**渡良瀬遊水地** ◇4月2日、東谷中橋を渡って新川沿いに南へ歩くと、カンムリカイツブリがいた。しばし観察していると、カモのつがい飛んできて着水。何気なくスコープで見ると…シマアジ。いい出会いでした。他には、オオジュリン、アトリ、アオジなどのまだいる冬鳥に加えてツバメ、コチドリら夏鳥も来てました(大畑祐二)。

**久喜市菖蒲町下栢間** 4月4日午後5時、自宅前電線でツバメ1羽。今季初認(小貫正徳・とみ子)。

**春日部市内牧** ◇4月4日、内牧黒沼公園のホタル飼育ケージに近い雑木林にアカゲラがいた。木をつつく音を頼りに何とか姿を確認し、写真を撮ったら下尾筒の赤色が木肌にも映っていた! こんなことは初めてだ!! トンボ池の立ち枯れヨシ中でクイナ1羽が現れて採餌。蓮池ではコチドリのつがいらしきペアが3組、2つの池で別れて採餌。正午頃、林間アスレチックに南接する農家の屋敷林にてシロハラの声聞き、探していると、突然見慣れぬ鳥の後ろ姿が目に入る。よく見ると、トラツグミであった(下写真)。本種を確認するのは久しぶりだ(石川敏男)。



**さいたま市桜区白鍬** ◇4月5日、電建住宅調整池でコチドリ2羽(大塚純子)。

**蓮田市西城沼公園周辺** ◇4月5日、1羽のツバメが昨年の巣の近くの電線で囀っていた。もう1羽のツバメが巣に座っていたが囀っていたツバメと交代した。2羽で巣の状態を確認しているようだった。4月13日、近頃、ヒヨドリがあまり鳴かなくなった。アオジ2羽が植木畑から道路に出てきた。4月18日、ムクドリが巣材用の羽根を口いっぱいにくわえて飛んで行った。今年も空家の戸袋で営巣するようだ。6羽のツグミが芝生で採餌。4月22日、オオタカが屋敷林の上で輪を描き、西に流れた(長嶋宏之)。

**さいたま市浦和区木崎3丁目** ◇4月5日、桜の花の蜜を吸うヒヨドリたちに混じって、アトリ♀2羽が桜のつぼみを食べていた。ウグイスの囀りも聞こえた(鈴木紀雄)。

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇4月5日午後4時過ぎ、元荒川の岸辺を歩いていると、草むらからタシギが次々と飛び立った。

その数20羽±。今まで見たこともない数。渡りの途中で今夜の唄にしていたのかもしれないね、ごめんなさい(内田克二)。

◇4月9日、コジュケイ、ヒドリガモ20羽の群れ中にアメリカヒドリ♂1羽。コガモ、カルガモ、カワウ、コチドリ、イソシギ、セグロカモメ、オオタカ若鳥?1羽、シメが多い、カワセミ、アカゲラ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、アトリ、ホオジロ、アオジなど(鈴木紀雄)。

**蓮田市馬込** ◇4月6日、7日、ツミが「ケケケ…」と鳴きながら満開の桜の木からまだ葉の出ないイチョウの大木に飛んだ(本多己秀・久文字)。

**春日部市武里中野** ◇4月7日午前11時49分、チュウサギ1羽があぜ道で佇んでいた。自転車が近くを通ったため飛び上がり、北東方向へ飛び去った。4月8日午前10時10分頃、武徳川(農業用水路)南側の田んぼにダイサギ2羽がおり、1羽がもう一方の1羽を追い払っていた。残った1羽を見ると、目元は緑色、嘴は先にわずかな黄色味を残した黒の夏羽個体。レース状の飾り羽も綺麗だった。近くにアオサギ成鳥が1羽。昨夜来の雨で田んぼが湿り、久しぶりに大型サギ類が飛来した。同日午前10時25分頃、谷原親水公園水鳥の池(小さなビオトープ)周囲の湿地でクイナ2羽が離れて採餌していた(石川敏男)。

**長瀨町** ◇4月9日、今日は探鳥会の時間帯が雨で中止になったが、曇の時間帯もあったので、長瀨を満喫してきた。上長瀨～長瀨～宝登山～水管橋～上長瀨で丸一日。コジュケイ、キジ、マガモ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、カワウ、ダイサギ、イカルチドリ、トビ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、モズ、カケス、オナガ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ウグイス、エナガ、メジロ、ヒレンジャク、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ノビタキ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、マヒワ、ウソ、シメ、ホオジロ、ミヤ

マホオジロ、アオジ、ガビチョウなど。特筆は、上長瀨の月の石もみじ公園周辺。朝はノビタキ黒頭、夕方はヒレンジャク。宝登山はウソに、カシラダカかと思いきやミヤマホオジロ(大畑祐二)。

**さいたま市西区の鴨川** ◇4月10日、島根橋付近のヤナギでコムクドリ♂3羽♀2羽が採餌(大塚純子)。

**ふじみ野市の新河岸川** ◇4月13日午前6時頃、第二新河岸川橋の東側にオオジュリンの群れがいた(プリングマン・ウィリアム)。

**幸手市中川(5439-0691、5439-0690)** ◇4月18日、上宇和田公園から圏央道下まででカルガモ13羽、コガモ♂1羽♀2羽、シジュウカラ3羽、キアシシギ1羽、ツバメ6羽、オオタカ2羽(うち1羽は若鳥)、アオサギ2羽、ホオジロ2羽、ツグミ5羽、カワラヒワ2羽、ヒバリ1羽など(荒川貴之)。

**さいたま市中央区八王子5丁目** ◇4月14日朝、かやのき団地8号棟の庭先でツミ♀がハンプトガラスを撃退。4月16日、8号棟庭でエナガ2羽。4月17日朝、14号棟屋上の縁にカルガモ6羽が並んで立ち、小声で鳴き交わす(大塚純子)。

**さいたま市岩槻区馬込(5339-7552)** ◇4月19日、ムナグロ10羽とチュウサギ2羽を初認。ほぼ毎年同じ時期同じ場所での初認だが、ムナグロの飛来数が減ってきていることと他のシギチの飛来が無くなっていることが、気になる(田中幸男)。

**久喜市菖蒲町上栢間** ◇4月20日午前6前後、神明神社界限でホオジロ、シロハラ、アオサギ、ダイサギ、ハイタカ各1羽(小貫正徳)。

**元荒川大御堂橋～桶川市舎人新田** ◇4月21日午前6時前後、キジ♂8羽、それぞれの縄張りでも確認。♀3羽(2羽と♂とともに1羽)。コジュケイ1羽、カワセミ1羽、オオヨシキリ1羽、今季初認。コサギ1羽(小貫正徳)。

#### 表紙の写真

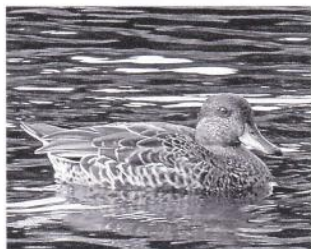
#### スズメ目ヒタキ科ノビタキ属ノビタキ

尾羽がなくても大丈夫。ちゃんと飛べます。旅もできます。元気です。蝦原義夫(さいたま市)





## 行事案内



コガモ(編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

**参加費：**中学生以下無料、会員100円、一般200円。

**持ち物：**筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

**解散時刻：**特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。実際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：9月10日(日)

集合：午前8時20分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷8:00発、または寄居7:39発に乗車。

担当：千島、新井、鶴飼、倉崎、田島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：暑くても元気に活動している留鳥とその幼鳥、南へ移動中の夏鳥、そして猛禽も探しましょう。

ご注意：今月まで、集合の早い夏時間です。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：9月16日(土) 午後3時～4時ころ

会場：会事務局108号室

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：9月17日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線 北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ(ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です)。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：浅見(徹)、小林(み)、青木、浅見(健)、楠見、小菅、須崎、新部、島山、増田

見どころ：秋の渡り途中の鳥たちが、三室に立ち寄っているかな。草地にノビタキ、芝川にコガモそして上空にサシバを期待。

### 坂戸市・高麗川探鳥会

期日：9月17日(日)

集合：午前8時、東武越生線 川角駅前。

交通：東武越生線 坂戸7:39発、または越生7:39発。東武東上線は坂戸乗換、JR八高線は越生乗換。JR埼京線は川越で東武東上線へ乗換。

担当：鈴木(秀)、青山、志村、高草木、藤掛、藤澤、持丸、山口

見どころ：川沿いはコンクリートの遊歩道が整備されました。鳥達に変化はあるでしょうか。サシバの渡りに出逢えるかも。彼岸花や田圃の稲刈りも見られる探鳥会です。

### シギ・チドリ類県内調査

期日：9月18日(月・祝)

日本野鳥の会埼玉では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。多くの会員の参加・ご協力をお願いします。

#### ◆ 大久保農耕地(さいたま市)

集合：午前9時30分、荒川総合運動公園グラウンド北側駐輪場わきの広場(横堤の下)。  
解散：集合場所で、正午頃の予定。

交通：浦和駅西口②番バス乗り場から大久保浄水場行き8:33発で終点「大久保浄水場」下車、徒歩約15分。

担当：石井

その他：調査のため、参加費は不要。小雨決行。大雨や悪天候の場合は中止。なお、シギ・チドリ類が大変少ないこともあります。

## タカの渡り調査

毎年行う大切な定点観測です。初めての方も大歓迎。雨天（小雨でも）中止。調査のため参加費不要。いずれも調査時間内のご都合のよいときに、各調査地点にお出かけ下さい。

### ◆中間平(ちゅうげんだいら)展望台(寄居町秋山)

日時：9月18日(月・祝) 午前8時～正午まで。雨天の場合は19日(火)に実施します。交通：車で寄居町から294号線を東秩父方面に向かい、途中で右に入ります。登る途中に老人ホームあきやま苑があります。中間平緑地公園の中にある、道路脇の展望テラスです。駐車場、トイレあり。

担当：千島

見どころ：昨年は二日間とも雨天中止でしたが、17日にはサシバ43、ハチクマ4、ツミ7、オオタカ、ハヤブサ2、チョウゲンボウ、ノスリを観察しました。

### ◆天覧山展望台(飯能市)

日時：9月24日(日) 午前9時～正午ころまで。雨天中止。

交通：東飯能駅西口から、7:43または8:03発バスで「天覧山下」下車。少し戻り、横断歩道を渡り、坂を登る。バス停から市民会館～能仁寺～天覧山登山口を経て山頂まで徒歩約30分。滑りやすいので足元にご注意。駐車場は市民会館、8:00から。

担当：鈴木(秀)

見どころ：サシバ、ハチクマ等の渡り調査。昨年は100羽を超える渡りでタカ柱も発生。今年の異常な気象状況が雛の生育や渡りの時期に影響がない事を願っています。

## 松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：9月23日(土・祝)

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。交通：東武伊勢崎線 北越谷駅東口①番バス乗り場から茨急バス・エローラ行き8:57発で「松伏高校前」下車。道路の反対側が駐車場です。

担当：田邊、植平、佐藤、佐野、進士、野村、橋口、森下、山部、吉岡

見どころ：秋分の日(彼岸の中日)は、日本人には暑さとおさらばして秋を迎える覚悟をする日。渡り鳥達は、すでに移動の準備から移動の時期に入っています。そこで、調整池と幾つかの運動場で構成された公園とその周辺の農耕地を歩く探鳥会に参加して、季節の先取りをしてみませんか。本年の初見の冬鳥をゲットしたり、地元の人と鳥情報を交換したり、楽しい探鳥会になることが期待されます。もちろん、初心者の方やお子様連れは大歓迎です。

## 長野県松本市・白樺峠探鳥会(中止)

期日：9月23日(土)～24日(日)

最少催行人員に達しなかったため、中止としました。

## 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：9月24日(日)

集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。交通：西武新宿線 本川越8:42発、所沢8:39発に乗車。

解散：正午ころ、稲荷山公園。

担当：長谷部、石光、島崎、高草木、中村(祐)、藤掛、水谷、山口、山本

お知らせ：「ビギナー探鳥会」を同時開催。

見どころ：昨年は9月にしてはめずらしく34種もの鳥が見られました。実際にいる鳥もその時々により、見られたり見られなかったり。さて、今年はどうな鳥たちに会えるでしょうか。

## 第12回 Young 探鳥会 東京都日野市・多摩動物公園 (要予約)

期日：10月14日(土)

集合：午前9時45分、多摩動物公園正門前(多摩モノレールまたは京王線の「多摩動物公園駅」前)。

解散：午後3時ころ、多摩動物公園内。

申し込み：日本野鳥の会埼玉のホームページに9月上旬から掲載する専用応募フォーマットで申し込んでください。

定員：30名(定員を超えた場合は抽選となります。別途、当選者にEメールにて連絡)



担当：廣田、島崎、高崎

見どころ：前半は多摩動物公園の動物解説員さんに鳥の体の仕組み・つくりなどを講義いただき、鳥の卵や羽の観察を行います。後半は野生ではじっくり見られない鳥類の観察と解説員による解説。もちろん、動物園内で野鳥も探します。

その他：昼食持参(動物園内レストランあり)。入園料は各自負担。

### 長野県・戸隠高原探鳥会(要予約)

期日：10月21日(土)～22日(日)

集合：21日午前9時、長野駅コンコース、新幹線改札口を出て右側。

交通：新幹線「あさま601号」(東京6:52→大宮7:18→熊谷7:31→高崎7:49→長野8:40着)、または「かがやき503号」(東京7:20→大宮7:46→長野8:43着)など。

解散：22日16時頃、長野駅前。はくたか568号(16:18発)、あさま624号(16:23発)に乗車できるように調整します。

費用：13,500円(1泊3食、現地バス代、温泉入湯料、旅行保険料等)。集合地までの往復交通費は各自負担。

定員：20名(日本野鳥の会会員限定、先着順、埼玉会員優先)。

★今回の探鳥会は、近畿日本ツーリスト(株)の受注型企画旅行となります。参加者が確定後、同社から行程表とは別に請求書が發送されますので、参加費を指定口座に振り込んでください。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、旅行時の年齢(保険加入に必要)、性別、電話番号、喫煙の有無を明記して、菱沼一充(一)まで。9月1日消印から有効受付とします。

担当：菱沼(一)、浅見(徹)、近藤、菱沼(洋)  
見どころ：この時期しか出会うことができない、ムギマキとマミチャジナイに出会う探鳥の旅。新そばの夕食も楽しみです

ご注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

### 宮城県・蒲生干潟～蕪栗沼探鳥会(要予約)

期日：11月25日(土)～26日(日)

集合：25日午前10時、JR仙台駅 新幹線中央口前。

交通：東北新幹線「はやぶさ5号」(東京8:20→大宮8:44→仙台9:51)または「やまびこ125号」(東京7:32→大宮7:58→仙台9:38)など。集合後解散まで往復貸切バス(中型)を使用。

解散：集合場所にて26日午後4時ころの予定。定員：23名(埼玉会員優先、応募多数の場合は先着順)。最少催行人数16名。

費用：参加者が23～21名の場合は25,800円、20～18名の場合は27,500円、17～16名の場合は28,900円となります。

\*上記費用には1泊3食宿泊費・入湯料、貸切バス代、保険料などが含まれます。集合地までおよび解散地からの交通費は含まれません。

\*今回のツアーは、近畿日本ツーリスト(株)の受注型企画旅行となります。人数・費用が確定したのちに同社から行程表とは別に請求書が發送されますので、参加費を指定口座に振り込んでください。

申し込み：往復はがきに、住所、氏名、生年月日(保険加入に必要)、性別、電話番号、会員番号を明記して、長野誠治(一)

まで。9月1日消印から受付有効とします。

担当：長野、青木、入山、佐野

見どころ：まず仙台市蒲生干潟でコクガンやシギ・チドリを探します。その後、蕪栗沼へ移動して数万羽のガンのねぐら入りを観察。翌早朝に飛び立ちを見て、さらに午前中も蕪栗沼周辺を探鳥します。ガンのねぐら入りと飛び立ち立ちの迫力には誰しも感動することでしょう。

その他：25日の昼食(弁当)は各自持参。宿泊は男女別の相部屋です。温泉(大浴場)が宿に隣接しています。



## 行事報告

2月5日(日) 北本市 石戸宿

参加: 61名 天気: 曇

コジュケイ コガモ キジバト カワウ アオサギ クイナ バン カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ ベニマシコ ウソ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (34種) (番外: ガビチョウ) 開始早々、ふれあい橋の上からカケス、アカハラとシロハラ。木道ではカシラダカ、アオジ、ホオジロ、アトリ。後半の人達はウソ。北里の森沿いでは、クイナの声。最後に八つ橋を渡った正面の湿地でセグロセキレイ、梢にヤマガラ。入口近くの土手にベニマシコの♂♀。(吉原俊雄)

2月5日(日) 北本市 石戸宿 Beginner

参加: 16名 天気: 曇

カルガモ コガモ キジバト カワウ オオタカ カワセミ コゲラ アカゲラ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ウグイス エナガ メジロ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (25種) (番外: ガビチョウ) 初心者を対象として別行動。双眼鏡の使い方からレクチャー。最初に登場したのはシメ、そしてウグイス。普段だとサラッと流れそうな鳥でも時間をかけて観察、そして解説。参加者が納得するまで動かない。最後はリクエストに応え、カワセミを探しに。すると目の前でホバリングからのダイブ、そして魚をくわえて…の「カワセミショー」に一同歓声。(石塚敬二郎)

2月5日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 50名 天気: 曇

コハクチョウ オオハクチョウ オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ トモエガモ コガモ ホシハジロ

キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン セグロカモメ チュウビ オオタカ ノスリ カワセミ アリスイ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ オオジュリン (49種) (番外: ドバト) 芝川第一調節池では水面の観察が多いので、太陽光が反射しない曇りは大歓迎。おかげでコハクチョウ2羽、オオハクチョウ2羽、カモ類11種、カイツブリ類3種と大盛況。(須崎 聡)

2月11日(土、祝) さいたま市 大宮市民の森

参加: 66名 天気: 晴

オシドリ カルガモ コガモ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ コサギ クイナ バン オオバン ヒメアマツバメ タシギ カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ アトリ カワラヒワ シメ コイカル ホオジロ カシラダカ アオジ (38種) (番外: ドバト) たくさんの目でみなさんが探してくれ、38種の鳥達と出会えてほっとした。この場所の探鳥会では初めてのオシドリとコイカルが見られたのは良かった!(青木正俊)

2月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 41名 天気: 快晴

キジバト タゲリ トビ カワセミ コゲラ アカゲラ ハヤブサ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ ムクドリ トラツグミ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (28種) (番外: ガビチョウ、ソウシチョウ) 冷たい風の中、土手に上がるとまず現れたのはジョウビタキ♂。ゴルフ場ではたくさんのシメが採餌中。途中の樹でアカゲラ♀がポーズをとってくれる。河原でカワセミを見ていると、ここでは珍しいタゲリが1羽飛んだ。



野鳥の森に入ってトラツグミを発見。全員で見ることができた。出現鳥は少なかったが、人気者登場で盛り上がった。  
(新井 巖)

2月12日(日) 所沢市 狭山湖

参加: 32名 天気: 晴

マガモ コガモ キンクロハジロ カイツブリ  
カムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト  
カワウ アオサギ トビ ハイタカ オオタカ  
カ ノスリ コゲラ アオゲラ モズ ハシボソ  
ガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカ  
ラ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ アカ  
ハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズ  
メ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ  
シメ アオジ (34種) (番外: ドバト、ガビチョウ)  
集合地上空をオオタカ、ノスリが舞い、出  
だしは快調。林地ではルリビタキやカラ類を楽し  
め、湖畔の松林では初記録のアカハラも確認でき  
たが、肝心の水鳥・カモ類が、種・数とも悲しい  
ほど少ない。この現象、当地に限らないような  
ので一層気になる。「囀りも せむいたすらに 餌を  
取る アカハラ冬も 降まっ色目」 (石光 章)

2月18日(土) 上尾市 丸山公園

参加: 35名 天気: 曇

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト  
カワウ タゲリ ハイタカ オオタカ カワセミ  
コゲラ モズ カケス オナガ ハシボソガラス  
ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグ  
イス エナガ メジロ ムクドリ トラツグミ  
シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ ス  
ズメ キセキレイ ハクセキレイ アトリ カワ  
ラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ  
(36種) (番外: ドバト) 人工滝の岩壁を舞台に  
キセキレイなどが次々に登場。近くの梢にはハイ  
タカが。林間広場では、アトリの群れをゆっくり  
観察。学習館裏の斜面を下ると、林床にシロハラ  
が。その後も次々に鳥が出て一同興奮。バーベキ  
ュー場付近では、カケスやオナガが。トラツグミ  
やアカハラを見た幸運な人もいた。荒川土手では、  
河川敷にタゲリが3羽、頭上にオオタカも。ペニ  
マシコを探せなかったのが残念! (近藤龍哉)

2月18日(土) さいたま市 芝川第一調節池 Young

参加: 57名 天気: 曇

オシドリ オカヨシガモ マガモ カルガモ ハ  
シビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ  
キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カン  
ムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト  
カワウ アオサギ ダイサギ バン オオバン  
ユリカモメ セグロカモメ トビ チュウヒ ノ  
スリ カワセミ アカゲラ ハヤブサ モズ ハ  
シボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ  
ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ シロハ  
ラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセクレ  
イ セグロセキレイ カワラヒワ ペニマシコ  
シメ ホオジロ アオジ オオジュリン (47種)  
(番外: ドバト) 寒い日だったが、風がなかつ  
たのが救い。池にはカムリカイツブリ、ハジロ  
カイツブリ、カモ類。ハクチョウたちは留守だ  
ったが、鉄塔の上でくつろぐハヤブサを参加者全  
員で間近にじっくり見られた。低木とヨシ原のゾ  
ーンではアカゲラが出現。ノスリも枯れ木でくつ  
ろいでおり、じっくり見られた。(廣田純平)

2月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 11名

相原修一、宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海  
老原美夫、大坂幸男、小林みどり、志村佐治、菱  
沼一充、藤掛保司、三ツ矢正安

2月19日(日) 志木市 柳瀬川

参加: 40名 天気: 快晴

オカヨシガモ ヒドリガモ アメリカヒドリ マ  
ガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブ  
リ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コ  
サギ オオバン イカルチドリ タシギ イソシ  
ギ セグロカモメ ハイタカ コゲラ チョウゲ  
ンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス  
シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツ  
グミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハク  
セキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒ  
ワ シメ アオジ (38種) (番外: ドバト) 少し  
強い風が吹いた。川岸にキセキレイ、中洲にイカ  
ルチドリやタシギが現れる。水谷田圃にタゲリを  
求めるが空振り。上空をチョウゲンボウ、ハイタ  
カが飛び、小鳥やカモ類を騒がせる。ゴルフ場裏  
の川ではカイツブリを間近に観察し、強風を避け  
て川中に浮かぶ多数のカモ類の中にアメリカヒド  
リを発見。多くの種に出会えた。(鈴木秀治)



### ● 講演会『野鳥からみた昆虫、昆虫からみた野鳥』のお知らせ

◆講師：海野和男(昆虫写真家)×安西英明(日本野鳥の会理事・主席研究員)

◆日時：2017年10月28日(土) 14:00～16:00(受付開場13:30開始)

◆内容：協賛挨拶「三菱UFJ信託銀行だからできること」と講演

◆会場：三菱UFJ信託銀行本店 6階会議室(1階東京駅側受付からお入りください)

◆主催：公益財団法人日本野鳥の会

◆協賛：三菱UFJ信託銀行本店営業部

◆参加費：無料

◆定員：先着100名

◆申し込み：10月18日(水)までに①氏名 ②参加人数 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス(ある方) ⑥「野鳥と昆虫講演会参加希望」と明記し、下記受付へメールまたはFAXでお申し込みください。※受付けた方には「ご招待ハガキ」をお送りしますので当日必ず持参ください。

◆受付先：e-mail:seminar@wbsj.org  
FAX:03-5436-2635

◆内容に関するお問合せ：  
飯塚(090-4711-9892)、萩原



### ● 事業部長交代

2011年4月から6年間事業部長をつとめ、会の財政を支え続けた大坂幸男が幹事・事業部長を退任し、今年度から相原修二幹事が事業部長を引き継ぐことが、7月16日の役員会議で承認されました。

### ● 会員数は

8月1日現在1,679人。

## 活動と予定

### ● 7月の活動

7月8日(土) 8月号校正(相原修一、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之)。

7月16日(日) 役員会(司会:小林みどり、各部の報告・9-12月行事予定追加・その他)。

7月18日(火) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』8月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

### ● 9月の予定

9月2日(土) 編集部会。普及部会。

9月9日(土) 10月号校正(午後4時から)。

9月16日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

9月17日(日) 役員会(午後4時から)。

## 編集後記

根室の風蓮湖で野生のタンチョウに初めて出会った。浅瀬で2羽が優雅に餌をついばんでいた。その後、厚岸へ向かう車窓から、牧草地に群れるタンチョウを見かけた。「害鳥化するタンチョウ」の記事がふと頭をよぎった。この美しい鳥と共存したい。会員であることがその一助になればよい。(浅見)

しらこぼと 2017年9月号(第402号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org  
 編集部への原稿 yamazekuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル  
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社